

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月27日

香川県知事 殿

提出者

住 所 東京都千代田区丸の内一丁目1番1号

氏 名 三菱ケミカル株式会社 代表取締役 江口 幸治

(同上代理人)事業所長 式 貴志

電話番号 03-6748-7300 (本社)

0877-46-8445 (香川事業所)



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

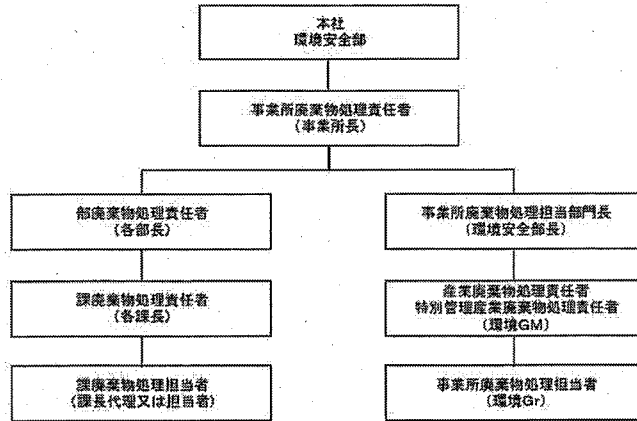
事業場の名称	香川事業所
事業場の所在地	香川県坂出市番の州町1番地
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	製造業
② 事業の規模	製造品出荷額:1983億円
③ 従業員数	730名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥→再生処理会社に委託して、セメント原燃料等として再資源化、中間処理会社に委託して、焼却後、埋立処分。 廃油→再生処理会社に委託して、原燃料として再資源化。 廃酸→再生処理会社に委託して、セメント原燃料等として再資源化。 廃アルカリ→再生処理会社に委託して、セメント原燃料等として再資源化。 廃プラスチック類→再生処理会社に委託して、固形燃料として再資源化、中間処理会社に委託して、焼却後、埋立処分。 木くず→再生処理会社に委託して、チップとして再資源化。 金属くず→再生処理会社に委託して、有用物を回収し再資源化。 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず→再生処理会社に委託して、セメント及びレンガ原燃料等として再資源化、有用物を回収し再資源化。 がれき類→再生処理会社に委託して、路盤材として再資源化、最終処分会社に委託して埋立処分。 水銀使用製品産業廃棄物→再生処理会社に委託して、破碎・選別後、有用物を回収し、再資源化。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

		【前年度(令和4年度)実績】							単位:t
産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	汚泥	金属くず	水銀使用製品産業廃棄物	廃アルカリ	廃プラスチック類		
	排出量	63.49	318.94	8,043.71	0.16	1.16	0.01	427.40	
①現状	4.51	326.57	60.81	0					
(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・パレット等を再使用する。 ・廃油を有価売却する。 ・分別を行い、自社内で再生利用する。 									
		【目標】							単位:t
産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	汚泥	金属くず	水銀使用製品産業廃棄物	廃アルカリ	廃プラスチック類		
	排出量	1,015.27	1,929.50	9,987.60	0.61	1.29	1.01	611.19	
②計画	0.40	112.50	353.09	0					
(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・分別徹底を継続する。 ・有価売却先を検討する。 									

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> ・汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、木くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、水銀使用製品産業廃棄物等、それぞれに分別している。 ・分別により、リサイクル化、有価売却可能なものは、売却している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> ・現状取り組みを今後も継続する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

		【前年度(令和4年度)実績】							単位:t
①現状	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	汚泥	金属くず	水銀使用製品産業廃棄物	廃アルカリ	廃プラスチック類	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0	0	5,452.92	0	0	0	0
		廃酸	0	0	0	0	0	0	0
(これまでに実施した取組)									
		【目標】							単位:t
②計画	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	汚泥	金属くず	水銀使用製品産業廃棄物	廃アルカリ	廃プラスチック類	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0	0	8,000.00	0	0	0	0
		廃酸	0	0	0	0	0	0	0
(今後実施する予定の取組)									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

		【前年度(令和4年度)実績】							単位:t
①現状	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	汚泥	金属くず	水銀使用製品産業廃棄物	廃アルカリ	廃プラスチック類	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0
		廃酸	0	0	0	0	0	0	0
(これまでに実施した取組)									
		【目標】							単位:t
②計画	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	汚泥	金属くず	水銀使用製品産業廃棄物	廃アルカリ	廃プラスチック類	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0
		廃酸	0	0	0	0	0	0	0
(今後実施する予定の取組)									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度(令和4年度)実績】							単位:t
①現状	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	汚泥	金属くず	水銀使用製品産業廃棄物	廃アルカリ	廃プラスチック類	
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0
	廃酸	0	0	0	0				
	廃油	0	0	0	0				
(これまでに実施した取組)									
		【目標】							単位:t
②計画	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	汚泥	金属くず	水銀使用製品産業廃棄物	廃アルカリ	廃プラスチック類	
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	
	廃酸	0	0	0	0				
	廃油	0	0	0	0				
(今後実施する予定の取組)									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度(令和4年度)実績】							単位:t
①現状	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	汚泥	金属くず	水銀使用製品産業廃棄物	廃アルカリ	廃プラスチック類	
		全処理委託量	63.49	318.94	2,590.79	0.16	1.16	0.01	427.40
	優良認定処理業者への処理委託量	63.49	0	951.15	0.16	1.16	0.01	180.48	
	再生利用業者への処理委託	52.12	318.94	2,477.82	0.16	1.16	0.01	210.39	
	認定熱回収業者への処理委託	0	0	0	0	0	0	0	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	47.90	0	42.71	0.16	0	0.01	54.36	
	廃酸	4.51	326.57	60.81	0				
	廃油	4.51	317.31	0	0				
	廃油	4.51	317.31	50.70	0				
	廃酸	0	0	0	0				
	廃油	4.51	1.25	0	0				
(これまでに実施した取組)									
・分別をしっかりと行い、リサイクル化、有価物として売却できる物は売却する。									

【目標】		単位:t						
		産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	汚泥	金属くず	水銀使用製品産業廃棄物	廃アルカリ
②計画	全処理委託量	1,015.27	1,929.50	1,987.60	0.61	1.29	1.01	611.19
	優良認定処理業者への処理	1,008.59	0	743.52	0.59	1.29	0.01	271.02
	再生利用業者への処理委託	1,009.46	1,924.40	1,141.91	0.61	1.29	1.01	357.92
	認定熱回収業者への処理委託	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	966.79	0	79.38	0.59	0	0.01	159.21
	廃酸	0.40	112.50	353.09	0			
	廃油	0.40	112.49	0	0			
	木くず	0.40	112.50	353.09	0			
	燃え殻	0	0	0	0			
		0.40	92.49	0	0			
	(今後実施する予定の取組) ・現状取組を今後も継続する。							
※事務処理欄								